

# —第4次幸田町新型コロナウイルス感染症緊急経済対策(全11施策)—

幸田町新型コロナウイルス感染症対策本部

問合せ 幸田町新型コロナウイルス感染症対策本部事務局 健康福祉部健康課  
 ※個別の施策に係る詳細につきましては、担当課にお問合せください。

## <概要>

本町では、5月に第1次緊急経済対策を取りまとめて以降、数々の施策を推し進めてまいりました。その間、愛知県内の感染状況は大きく変化し、本町在住者の感染例も発生しています。手を緩めることなく、3つの分野で町民の皆様を守るため、12月補正予算にて、冬季から来春にかけての感染防止対策に重点を置いた全11施策からなる第4次幸田町新型コロナウイルス感染症緊急経済対策を取りまとめました。これからも、町民の皆様温かい支援をお届けすべく全力で取り組んでまいります。

## ◎「暮らし」を守る 4施策

項目	内容	担当課 (グループ名)	予算区分
① 幸田町新型コロナウイルス感染症対策条例の制定	町、町民、事業者の責務を明確にして条例を制定。新型コロナウイルス感染症に対する対策の強化を図り、町民の生活及び健康を保護することにより、町民生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるようにする。新型コロナウイルス感染者への不当な差別的取扱いや誹謗中傷を防ぎ、人権を守る。 対象：町、町民、事業者	健康課 (健康増進グループ)	
② 医療的ケア児等特別支援金給付事業 【町費 2,000千円】	医療的ケア児・者等及びその家族への慰労を行うため。また、様々な感染症に対する感染防止対策に役立てていただくため。 積算：1世帯当たり20万円×10世帯=2,000千円 対象：医療的ケア児6人、医療的ケア者1人、人工呼吸器を必要とする人及びその家族等	福祉課 (福祉グループ)	12月補正
③ 健康の道利用促進事業 【町費 700千円】	健康の道の利用促進により、新型コロナウイルス感染症により萎縮した町民の心と体の健康増進を図る。健康の道をウォーキングした人を対象とし、応募方式で「天の丸」との連携により施設利用券の抽選配布を行う。 (1)令和2年度(令和3年1月から令和3年3月)ウォーキング、応募抽選 施設利用券の使用にかかる予算措置は令和3年度となる (2)令和3年度ウォーキング、応募抽選 積算：令和3年度実施のウォーキングラリー事業のため、健康の道ウォーキングアプリ作成 700千円 対象：町民ほか	健康課 (健康増進グループ)	(1)令和3年度 (2)12月補正
④ 救急医療体制運営補助 【町費 7,487千円】	岡崎市医師会の運営する夜間急病診療所に対して、新型コロナウイルス感染症の影響で受診者数が大幅に減少したため、事業を継続するための運営維持に必要な費用について補助の加算を行う。 対象：岡崎市医師会	健康課 (健康増進グループ)	12月補正

## ◎「営み」を支援する 3施策

項目	内容	担当課 (グループ名)	予算区分
⑤ 学校医、園医の報酬の改定のための条例改正	嘱託医等の報酬を改定することにより、同じ医師会の管内である岡崎市との均衡を図り、もって新型コロナウイルス感染症の影響を受けた町内医療機関への支援とする。 対象：学校医、園医	こども課 (保育所グループ) 学校教育課 (庶務グループ)	令和3年度

<p>⑥ 三河町村広域交流事業の推進 〔町費 2,000千円〕</p>	<p>東三河の町村（設楽町、東栄町、豊根村）と連携し、各町村の特徴ある地域資源をキーワードとした観光情報や魅力発信などの相互交流を行うことで、新型コロナウイルスにより減退した経済の活性化を図るべく広域交流推進協議会の設立を目指す。交流事業の推進のためのガイドブックの作成を町民向けに行う。 積算：調査・委託等2,000千円 対象：町民</p>	<p>企画政策課 （政策グループ） 人事秘書課 （人事グループ） 産業振興課 （商工観光グループ）</p>	<p>12月補正</p>
<p>⑦ 幸田駅前銀座空き店舗活用事業 〔町費 3,800千円〕</p>	<p>新型コロナウイルスによる不況により余儀なく撤退した空き店舗を、社会福祉団体の活動拠点として整備・活用促進を図るためのワークショップの空間として活用し、さらには、空き店舗活用のための創業支援を行うことにより、幸田駅前地区の活性化を図る。 積算：賃借料：1,000千円、工事費：2,300千円、管理委託料500千円 対象：女性の会、消防団、民生委員、老人クラブ、子ども会等社会福祉団体</p>	<p>企業立地課 （創業支援グループ） 区画整理課 （駅前整備グループ） 生涯学習課 （生涯学習グループ）</p>	<p>予備費</p>

◎「感染拡大」を防ぐ 4施策

項目	内容	担当課 (グループ名)	予算区分
<p>⑧ インフルエンザワクチン接種の拡充 〔県費 7,650千円〕</p>	<p>現行制度における高齢者等への、県費によるインフルエンザワクチン接種への自己負担金を助成。令和2年度に限り無料化 積算：1,500円/人×5,100人=7,650千円 対象：町内在住の65歳以上の高齢者及び60歳～64歳の基礎疾患を有する者</p>	<p>健康課 （健康増進グループ）</p>	<p>歳入：12月補正 歳出：既決予算</p>
<p>⑨ 感染症講話 〔町費 120千円〕</p>	<p>特に重篤化しやすい高齢者に対し感染症防止に係る講話を行う。藤田医科大学の協力を得て老人福祉センターで令和2年12月から令和3年2月の3か月間開催。週1回、講話時間30分 積算：講師謝金 1回15千円×8回=120千円 対象：老人福祉センターを利用する高齢者</p>	<p>健康課 （健康増進グループ）</p>	<p>既決予算</p>
<p>⑩ 町立保育園における紙おむつの回収 〔町費 2千円〕</p>	<p>町立保育園内で使用された紙おむつについて、その園で回収処分を行うことにより、保育士及び保護者の負担軽減と感染リスクの低減を図る。モデル事業として、令和2年12月の一月間坂崎保育園で実施する。 対象：坂崎保育園</p>	<p>こども課 （保育所グループ）</p>	<p>既決予算</p>
<p>⑪ ウィズコロナの新しい多機能型集会施設・避難所の構想づくり 〔町費 994千円〕</p>	<p>ウィズコロナに即した避難所とともに、新しい発想による多機能型集会施設の構想づくりのためのワークショップを行う。また、浸水害等が想定される区域内の指定避難所の見直しを行う。 積算：ワークショップ（幸田町スタートアップ研究所政策アドバイザー業務499千円）、建築空間デザイン（多機能型集会施設等建築空間デザイン制作495千円） 対象：逆川区（多機能型集会施設・避難所構想）、高力区（水害時の避難所候補地の選定）</p>	<p>企業立地課 （創業支援グループ） 総務課 （行政グループ） 防災安全課 （安全対策グループ）</p>	<p>既決予算</p>

予算状況

第6次補正予算(12月議会定例会)	12,187千円
既決予算・予備費	12,566千円
<b>総額</b>	<b>24,753千円</b>